

春日部市における 生涯学習の推進について ～私の生涯学習の歩み～

＜発表者＞

春日部市社会教育委員
山田 農久(やまだ とよひさ)

自己紹介

- 9年前に、小学校教諭を退職
- 退職後の人生を考えて…
 - ①春日部市で何かできないか
 - ②春日部市内の小学校勤務だったため、教え子がたくさんいる
 - ③スポーツが好き、社会科の資格がある

春日部市にて、ボランティア活動を始める

現在、様々な委員として活動中

- スポーツ推進員 9年
- 生涯学習市民推進員 7年
- 社会教育委員 5年

本日は、

①社会教育委員

②市内にて活動する学習者

という2つの立場から、春日部市の生涯学習の推進について発表します。

春日部市社会教育委員の概要

平成17年10月に旧春日部市と旧庄和町が合併。
「新春日部市」誕生

- 各団体からの選出委員11名、学識経験者2名、公募による委員2名の計15名で構成されており任期は2年
- 年3回程度会議を行い、教育委員会に提言等を行うのが主な活動

社会教育委員による研究

- 社会教育委員は、2年の任期の間に、1つのテーマを決めて研究に取り組む。
- 成果を教育委員会に提出し、社会教育の更なる発展を目指す。

①団体支援に向けた建議・提言

- 平成19年度
「社会教育関係団体の支援のあり方について」
(建議)
- 平成21年度
「社会教育関係団体の活性化について」
(提言)

②市民との協働についての提言・報告

- 平成23年度
「市民との協働で進める
社会教育事業のあり方について」
(提言)
- 平成25年度
「市民との協働で進める
社会教育事業の実現に向けて」
(報告)

③社会教育行政における「連携」拡充

- 平成27年度
「社会教育行政が推進する連携拡充策について」
(提言)
- 平成28年度～(現在)
「これからの社会教育関係団体の
支援のあり方について」

春日部市の生涯学習の推進について

平成19年3月

「**春日部市生涯学習推進計画**」策定。

計画期間は平成19年度から平成28年度までの10年間としていたが、上位計画の市総合振興計画の策定に合わせ、平成30年まで計画期間を延長。

春日部市の生涯学習の推進について

市民主体の学習や活動がより拡充していく中、その学習成果がまちづくりに生かされ、市民と行政の協働により、市民一人ひとりが住む喜びと豊かさを実感し、充実感のある生活を送ることができる個性ある魅力的なまちづくりを進めることを目的とし、生涯学習の推進に取り組んでいる。

「指導者」として活動する市民

「学習者」として活動する市民

2つの立場から見た提言の実現に向けた取り組み

指導者…生涯学習人材情報登録制度の発展

学習者…生涯学習パスポート[はるがく帳]

「指導者」からみた取り組み

＜生涯学習人材情報登録制度＞

「教えたい人」と「学びたい人」を結びつける。

- 平成28年度の講師登録は195件。
ボランティア登録は25名。
- 年間の利用は58件。（平成27年度実績）

人材情報登録制度における課題

- 活躍する機会は、一部の人や特定の分野に偏ってしまう。
- 市民の希望する学習分野の講師登録が必ずしもあるわけではなく、市民ニーズに対応しきれない。

人材情報登録制度のさらなる活用

- 平成23年度 社会教育委員の提言

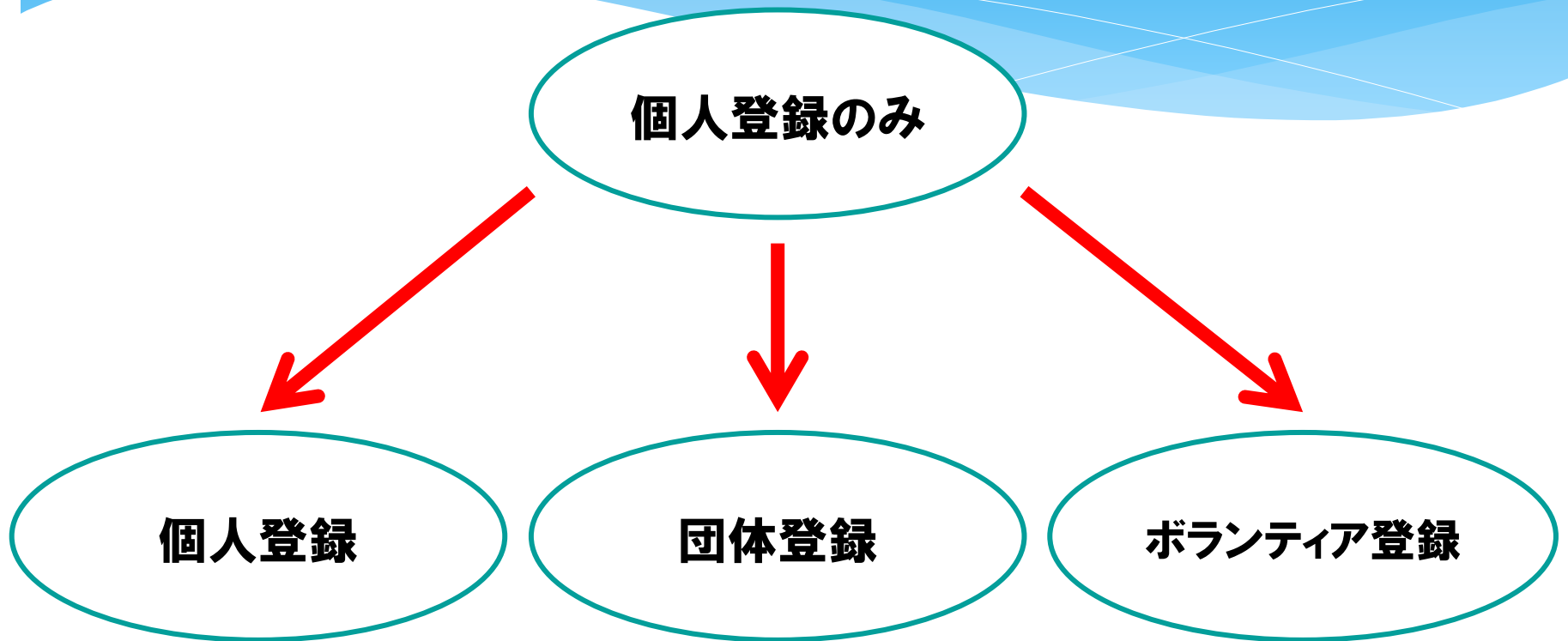
生涯学習人材情報登録制度の活用

人材情報登録
対象の拡大

かすかべし出前
講座での活用

(仮称)春日部
市民塾の設置

人材情報登録対象の拡大



より多くの市民が活躍できる機会が増える！

かすかべし出前講座での活用

- 従来のかすかべし出前講座とは…
行政への理解と地域やまちづくりへの関心を高めるため、市職員が市民の学習の場へ行き、講義・実技を行うもの。

講師は「市職員」のみで、講座メニューも行政・まちづくりなどに限られていた

- 市民講師による講座メニュー開設
生涯学習人材情報に登録してる市民・団体による
「かすかべし出前講座 市民講師編」を開設。

趣味・教養講座など
幅広い分野まで講座内容が拡充。

誰でもできる筋トレ・脳トレ

鉄道とキップの歴史・種類

美文字を書こう

123種類の市民講師
メニューが開設中

(仮称)春日部市民塾の設置

- 市民塾とは…
「生涯学習人材情報登録者」が、
一定期間の講座を
自主的に企画運営するもの。

市民による
市民のための
講座開設

平成28年度 中期
実施期間：平成28年10月~12月

生涯学習
市民塾

受講者募集中!! ~かすかべ健康・医療塾~

生涯学習人材情報登録者が講師となって『健康・医療』をテーマに期間中に様々な講座が開催します。
どの講座も初心者大歓迎です。教育センターで健康になりませんか？

講座案内

笑って楽しく タップダンス	イキイキ健幸生活 認知症予防	健康体操 ~心もからだも かるやかに~
エンディングノート 終活	生活習慣病にならない ための予防対策	誰でもできる 筋トレ・脳トレ
脳梗塞を患って ~闘病とリハビリ~	お申し込みはお電話で 視聴覚センター ☎048-763-2425へ	各講座定員になり 次第受付を締め切 ります

くわしい教室の内容は裏面をご覧ください

- 平成26年度…前進となる「企画学習会」を設置。
前・後期合わせて28教室実施。

はじめての水彩画



大切な人に贈る
いけばな

- 平成27年度…「生涯学習市民塾」に 名称変更。
前・後期合わせて29教室実施。

おもしろ漢字講座



文化箏
～小さなお箏で
「荒城の月」を奏でよう～



- 平成28年度…前期・中期・後期の3期制に変更。
前・中・後期合わせて55教室実施。

納涼祭で和太鼓を
叩いてみよう



誰でもできる
筋トシ・脳トシ

・市民塾のメリット

生涯学習人材情報登録者の活動する機会の増加

複数回の講座を実施することによる、
指導者としての資質向上

市民の学習ニーズに沿った講座の調査・開設

「学習者」からみた取り組み

- H23 社会教育委員会議提言より

市民の学習意欲向上に繋げるため、
学んだ経歴が記録できる

「仮称 生涯学習パスポート」

の作成・活用を

→実現に向けて取り組みを始める。

愛称の募集

- 平成25年6月
生涯学習パスポートの愛称を
市民より募集・選定
- 平成25年7月
生涯学習パスポートの愛称が
「はるがく帳」に決定

「はるがく帳」運用開始

- 平成25年9月20日
「はるがく帳」運用開始

- 平成27年10月
表紙を一般公募し、
リニューアル



- 「はるがく帳」 現在までの配布数

3,057冊 (平成28年12月末現在)

**のべ約3000人もの市民が
はるがく帳を活用し、
学習活動を楽しんでいる！**

「はるがく帳」の使い方

- 総ページ数…100ページ
- 自ら学んだ内容や習得した資格、学んだ成果を活かしたボランティア活動や地域活動などを、ひとつの学びの行動として1ページごとに記録する。
- 1ページにつき「1はる」と単位を数えて、記録する。

- 単位認定・奨励賞

①「100はる」(1冊修了)達成すると、単位認定証を授与。

単位認定回数…40回

②「300はる」(3冊修了)達成で、奨励賞が授与される。

奨励賞授与回数…10回

(平成28年12月末現在)

私のはるがく帳活用について

- 平成26年1月31日
初めて「100はる」を達成し、
単位認定申請。
- 平成26年9月27日
「300はる」達成。
第一号奨励賞受賞者となる。



↑ 奨励賞受賞式の様子

- 平成27年10月29日
通算「600はる」達成。
二度目の奨励賞授賞。
- 平成28年9月8日
通算「900はる」達成。
三度目の奨励賞受賞。
- 現在、11冊目のはるがく帳を活用し、
日々学習活動に取り組んでいる。

「はるがく帳」で学んだことを振り返って…

- ①市民の多くの発表会、作品展を鑑賞・経験して
発表会での姿に感動したり、作品展では、市民の作品
ならではの「味」が出ていたり、市民一人ひとりの
努力を感じることができる。
- ②知人の作品や発表会との偶然の出会い
20数年ぶりに知人と再会して驚いたり、
自分の趣味を活かし、日々頑張っていることを知り
刺激を受ける。

出歩いていればこそその出会いが広がっている

コタツに入り、テレビを見るのもいい。
コーヒーを飲みながら、読書するのもいい。
しかし私は、

人との関わりを持った生き方

が大好きです。

「はるがく帳」を通して得たことを、
社会教育委員の1人として、市民のために
活かしていきたい。また、自分も楽しみながら
気軽に学んでいきたい。

<まとめ>

学びの循環のある地域を目指して

①指導者としての市民もまた、学習者。

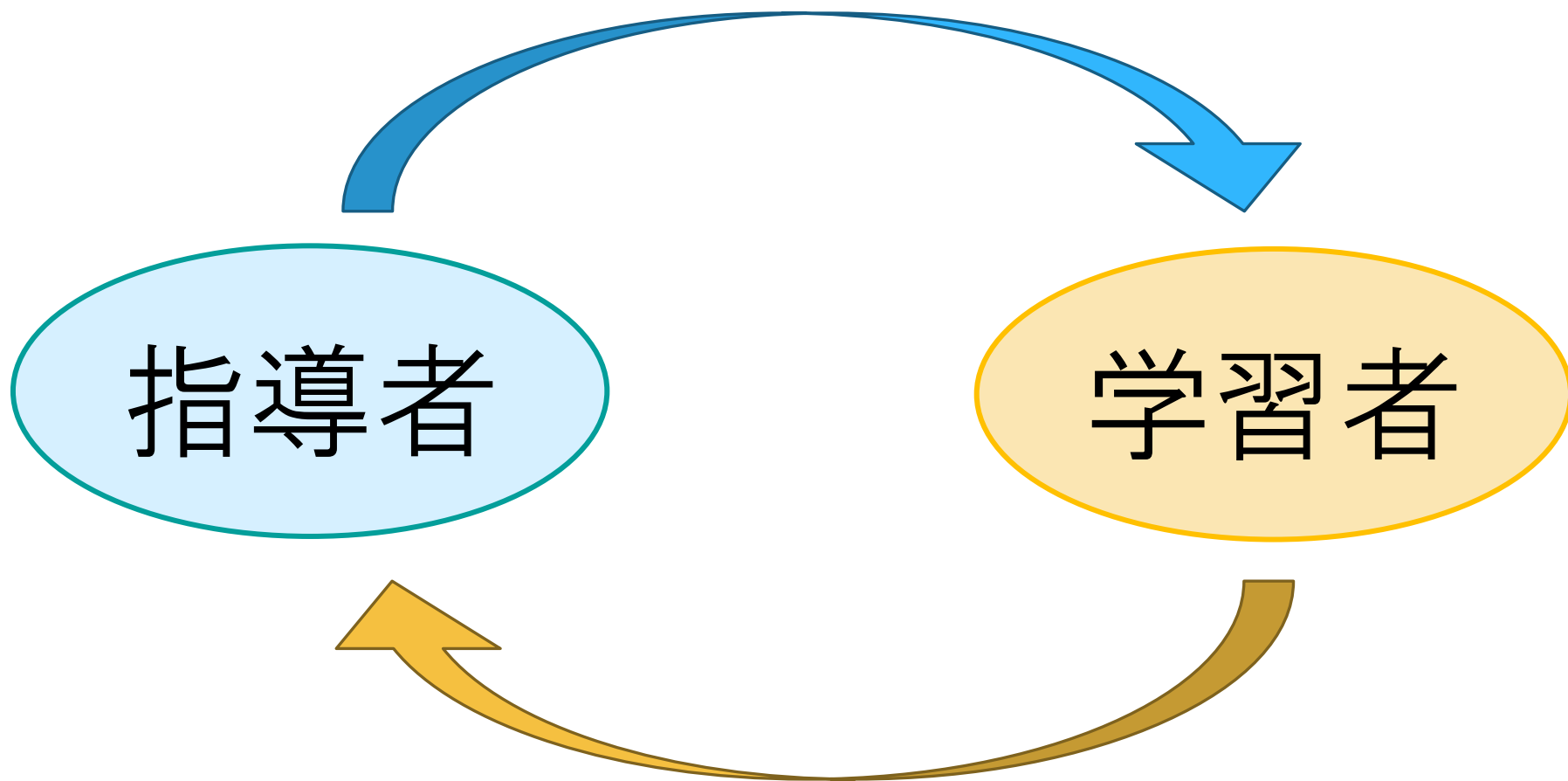
指導者として活動する市民も、学習に参加する市民の一人。指導者としての資質向上を目指したり、新たな学びを得るため日々、学習者する指導者として活動の幅を広げている。

②学習者が、将来の指導者になる。

「市民塾」や「はるがく帳」を活用し、
学びを深めていく中で、自分の得意分野を
見つけたり、伸ばしたりできる。

→市民による指導者の新たな担い手が
生まれるきっかけとなる。

③学びの循環が生まれる。



春日部市はこれからも、
市民の皆様と一緒に



「学びたい」「教えたい」人がいきいきと
活動できる生涯学習都市を創造していきます！